

静岡岡

強み磨き選ばれる都市に

東京新聞記者
小嶋 百合子氏

多様性・共生・デジタル加速

静鉄や遠鉄傘下のトヨタ系組社

店舗再編 選択と集中

全車種取り扱いに対応

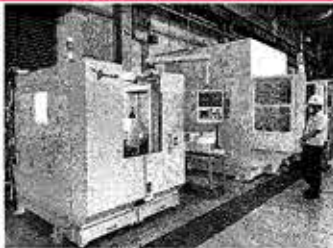
重複避け人材集約

バリ取り自動化装置

ヤマザキ ロボ技術使い高精度

工作機械などを手掛け、一スでも高精度で安定した加工ができる。製造現場の製造などで生じた余剰品の生産性向上や環境改善部分を取り除く「バリ取り」を自動化する装置を開発した。限られたスペースで自動車や農業機械、建

設機械などの部品を加工する企業に売り込む。将来的に年間売上高30億、40億円の事業に育てる。バリ取り装置「Super Deiburr Center」では省スペースで動く水平多関節



水平多関節ロボットなどの技術を用いた鋳造部品のバリ取りを自動で高精度に行う

ロボット（スカラロボット）を使い、人間の腕に似た垂直多関節ロボットより小さく費用も抑えた。床面サイズは小型・中型機種で2倍前後だ。工作機械の技術を活用し回転する砥石を使い分け、自動できめ細かく加工する。手作業でのバリ取りでは粉じんや火花も生じて製造現場の負担が重い。浜松市の補助金も受けて開発した。アルミや鉄などの素材からなる鋳造部品が加工の主な対象。固定用の治具と合わせた最大積載重量で小型15kg、中型50kg、大型150kgに対応する3つの機種を用意。メーカー希望小売価格は中型で約3000万円。年間40〜50台を生産・販売する。